

クスノキ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒七三〇-〇八五三
広島市中区堺町一丁目一九三〇三
TEL(〇八二)二三五三三〇五〇
FAX(〇八二)二三五三三〇五二
e-mail
ctg303.hiroshime@orange.plala.or.jp

高齢者や氷河期世代には依然厳しい雇用状況 今年も県内6か所でハローワーク前アンケートに取り組みました

建交労広島県本部は、今年も広島県労連や広島地域労連加盟の労働組合と一緒に、「二〇二五ハローワーク前求職者・離職者」アンケートに取り組みました。

県内6か所のハローワーク前で三月一七日(月)から二四日(月)にかけて実施しました。それぞれの職安所長に事前に申し入れを行い、実施しました。広島市でも三月一二日に二か所の職安所長に申し入れを行いました。

来所者減っても高齢者の求職者は多いです

広島職安と広島東職安の所長は「高齢者の求職者が多いです。求職に来られる人は以前に比べて減っています。テレビのコマーシャルやスマホで求職活動する人が増えて

いること、認定日でも事情があれば来所しなくてもよい措置が取られたりしていることも影響しているようにです」と話していました。

求職者の生の声を聞くことは大変重要

「ハローワーク前アンケート」は今回が三回目となりますが、その時々々の雇用情勢を大きく反映してきました。広島東職安の高永甲所長は「このアンケートで求職者の生の声を聴いてもらえるのはとても重要だと思います」と話していました。

このほか県内の呉、三原、尾道、福山市のハローワーク前でアンケート活動に取り組みました。(三月一七日は尾道職安前で、一八日は福山職安前で、一九日は三原と広島職安(二か所)前で、二四日は呉職安前で取り組みました)尾道職安前では四名が参加して三二枚を配布し二七枚を回収しました。

アンケートの集約結果については、県労連と加盟の各労働組合の皆さん、ヒロシマ労連、各地域労連や関係者に報告し情報を共有することになっています。また各職安の所長にも毎年報告しています。またアンケートに指名と住所を記入された方にも結果を報告します。



写真上は広島職安前と広島東職安前(同下)でのアンケート活動(3月19日)

生公連が広島市要請



ヒロシマ地域総行動で広島市契約課幹部に要請書を渡す小田林豊数議長(県本部委員長)

ヒロシマ地域総行動で

二月二八日(金)、の午前中「広島生公連」(広島県生活関連公共事業推進連絡会議議長小林豊数県本部委員長)は、ヒロシマ地域総行動の取り組みの一環として、広島市財政部契約課にたいする要請を行いました。

建交労から小林議長、武田喜成広島ダンブ支部事務局長、県本部の山田書記長らが四人が生公連メンバーとして参加しました。

市側からは契約部物品契約課、都市整備局技術管理課などから五人が参加、賃上げについては「労使間の話し合いで決定されることが望ましい」と考えており、ダンピング防止などに引き続き務めてゆきます」とこれまでとほとんど変わらない回答に終始しました。

地域総行動は前日の二七日に早朝宣伝や関係箇所への要請行動、昼休みデモなど取り組まれました。

徒然草

今年一月で六五歳になったある広島市民のつぶやき。同様の通知を受けた人もおられると思う◆「高齢者」の仲間に入りました。即刻、広島市から「高齢者肺炎球菌ワクチン」の接種券が届きました。封書を開いて中を読むと、ありがたいが半分、どうしたもんやらが半分です。説明書には、肺炎球菌が肺炎を引き起こし、場合によっては敗血症や髄膜炎といった命にかかわる重篤な症状に至ることもあるとワクチン接種の重要性が書かれています。しかし、その先には反対に、ギランバレー症候群など重い副反応があらわれる可能性も書かれています。こちらも命や残りの人生に多大な影響を与える疾患です◆これでは、受けた方が今後の安全にといいのか、受けないままの方がリスクを回避できるのか、「吉とでるか凶とでるか、今が人生の分かれ道」と自己責任に任されても困ってしまいます。さらに先には「接種料金4600円」と自己負担金が記されています。年金生活者に4600円はかなりの負担です。「市が援助しますから積極的にワクチンを受けましょう」という市の前向きな姿勢は感じられません。ここまでくると「金まで払って、危ない橋を渡るかあ？」と、受けない方に心が動いてしまいます◆もう少し低額料金で、できることなら無料で、説明の仕方もうもう少しうにかならないものだろうかと思う。(T・T)

三〇人以上参加に向けて、三原支部は三人、ダンフ支部は一〇人以上参加する

各支部・分会は三月末までに参加者確認を急ぐ

今年六月六日(金)から八日(日)に開催される「建交労フェスタ宮島」(仲間と一緒に、楽しく平和について考えよう!)の準備が進められています。

三月十八日(火)には「第七回実行委員会」が開催され、地元広島や中国地協関係者の参加費等、具体的な打ち合わせも行われました。

岡山県本部は五人申し込み

この時点での、中央本部・実行委員会へのフェスタ参加の申し込みは、三〇名足らずでしたが、これから申込者が増えてくると思います。中国地協関係でも、岡山県本部からは五人参加の申し込みが行われています。

すでに三月三日の「中国地協ニュース」でもお知らせしましたが、各県本部、支部(分会)でも、フェスタへの参加呼びかけが行われています。



安芸の宮島の象徴といえば厳島神社、1996 年 12 月にユネスコの世界文化遺産に登録されました。(ネットより)

中国地協では各県本部・山陰支部合わせて「五〇人以上の参加」を実現させるため、それぞれ参加目標を持ち、三月末の第一次締め切りを目標に参加者を募り、『参加報告書』で中央本部と広島県本部(中国地協事務局)に報告すること、二月の中国地協組織対策会議で確認しました。(各県本部・支部の参加目標は別項に)

フェスタ直前の下見を五月

一〇日に行います

現地広島県本部としても「現地企画」(平和資料館の見学「宮島見学」)をスムーズに行うために三月一日(土)に現地の「下見」を行いました。フェスタ直前の五月一〇日にも「現地下見」(宮島)を行う予定です。

●フェスタ参加目標

広島県本部	30 人
島根県本部	10 人
山口県本部	5 人
岡山県本部	5 人
山陰支部	5 人

※50 人以上参加のためにはこの人数以上になるように奮闘を。

三原支部はすでに三名の参加確認、

ダンフ支部は一〇人以上参加目標

参加者確認を急いでください!

広島県本部は県本部執行委員会でも、「建交労フェスタ宮島」成功のため、三〇人以上参加するため、各支部でも三月末までに参加者を確認すること、意思統一、三原市支部は、すでに名前で三名参加を確認しています。ダンフ支部は、支部役員会で、「一〇人以上」参加することを確認しています。ほかの支部でも参加者を名前で確認するようにしてください。詳細は県本部に問い合わせてください。

実行委員会次回は四月二四日です

大企業の内部留保五四九兆円に

賃金の抑制で内部留保を増額か

財務省が三月四日に発表した法人企業統計によると、資本金十億円以上の大企業の内部留保は前年同期比一八・五兆円増(三・五%増)の五四九兆円となり過去最大を更新したことになります。

第二次安倍政権が発足する直前の二〇一二年と比較すると、内部留保は七一・四%増額し、役員報酬も三一・三%増額となりました。その一方で、賃金については一四・三%増どまりとなっています。同じ時期に経常利益は二倍以上に増えていますが、にもかかわらず賃金を抑制することで内部留保などを増やしたことがわかります。(しんぶん赤旗三月五日付より)

今後の組合同期日程など

- 三・二七 建交労中央執行委員会(二八日)
- 三・二七 ヒロシマ革新懇デー
- 四・四 三原支部月例集会
- 四・五 県本部執行委員会
- 四・一三 ローカルビックアクション(第二弾・予定)
- 四・一三 建交労青年部委員会
- 四・一八 生活保護裁判判決(広島高裁)
- 四・二四 フェスタ実行委員会(第8回)
- 四・二六 ダンフ支部合同役員会
- 四・二九 昭和の日
- 五・一 第九六回メーデー
- 五・三 憲法集会
- 五・一〇 フェスタ実委の「宮島下見」
- 五・二〇 組織建設委員会ズーム会議
- 五・二四 ダンフ支部合同役員会
- 五・二六 建交労中央執行委員会(二七日)
- 六・六 建交労フェスタ in 広島(八日)
- 七・七 建交労中央執行委員会(八日)
- 八・三〇 建交労第二七回定期大会(九月一日)

お知らせ

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、「メール」やファクスでお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。お待ちしております。

ctg303.hiroshima@orange-plala.or.jp
Fax 〇八二一三三五一三〇五二